

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

2022年4月1日

2022年度 新入社員に向けた社長メッセージ

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスは、本日2022年4月1日、本社会場とWEB中継による入社式を執り行い、466名の新入社員を迎えました。

下記は、代表取締役社長CEO吉田直樹の新入社員に向けたメッセージです。なお、入社式の様子は当社HP特設サイト(<https://www.ppihgroup.jp/recruit/ceremony/2022/>)にて公開しております。

■社長メッセージ(要旨)

新入社員の皆さんご入社おめでとうございます。本日は中目黒本社その他、83拠点と中継で結んでいます。2022年度は総勢466名の新入社員の皆さんを迎え、お会いできるのを楽しみにしておりました。

さて、PPIHグループは、32期連続で増収増益を続けています。昨日で、本年度9ヶ月を終え、あと3ヶ月の戦いです。33期連続の増収増益をまさに実現しようと、皆一所懸命ですが、皆さん、この成長がずっと続くと思いますか？私は、「皆さん次第だ！」だと思っています。当社には、8万人の仲間がいます。そして皆さんは、その中でも、社員として重要なミッションを与えられています。

当社には「権限委譲」という重要な言葉があります。当社の素晴らしいところは、その「権限委譲」が徹底されていることですが、これは皆さんにとって、とても大きな意味があります。つまり、権限を委譲された人が、その権限を最大限行使しなければ、PPIHグループの成長は止まってしまう、ということです。本日は当社の幹部が出席しています。彼らはそれぞれ、10~20数年にわたって、大きな成果を上げてきた人たちばかりです。ただ、ここにいる幹部たちだけでは、この会社の経営は成り立ちません。それが「権限委譲」の素晴らしいところであり、厳しいところです。これからも、成長を続けるためには、ここに集まった466名全員の努力が必要なのです。

皆さん、社会人になってやっていけるかどうか不安ですか？本日は皆さんに、一つ、私からアドバイスをしようと思います。それは、PPIHの言葉にある「仕事をワークでなくゲームとして楽しむ」ということです。初めの数ヶ月はそれどころでないかもしれませんが、ただ、一定のことができるようになった後は、ぜひたくさんの「果敢な挑戦」をして「たくさんの失敗」を経験していただきたいと思います。間違いや失敗を恐れては果敢な挑戦などできるわけない。それが当社の考え方です。幾度もの失敗を糧にして挑戦する精神こそが成長の原動力であり、当社は失敗を容認してカバー

する体制が整っています。ぜひ「仕事をワークでなくゲームとして楽しんで」、失敗を恐れずにチャレンジしてください。

時代は今、とても早いスピードで変わっています。私たちは、そこに厳しい現実も見えています。具体的には、資源などの高騰により、電気代などの販管費が上がり、商品の原価も高騰していること、などがあげられます。ただ、この変化はチャンスです。なぜかという、PPIHグループの事業というのは、「変化対応業」だからです。世の中の消費者、お客さまの変化に対応すること、そのものが我々の事業内容なのです。

その「変化対応業」の当社において、大事なことは何か？それは、「多様性を認めよ」ということです。性別、年齢、人種、国籍、性的指向、宗教、ハンディキャップ、健康状態、能力、そういった違いを私たちは認めなければなりません。なぜならば、この会社は8万人の全員参加がなければ成り立たない企業であり、あらゆる人をウエルカムする店だからです。我々は、どんな方もウエルカムなのです。だから、当社は「多様性を認めよ」と言っているのです。

多様性を認める中で皆さんは、経験不足というハンディキャップがあります。けれど、社会人1年生ですから、全く問題はありません。その中で、ぜひ心がけてほしいことがあります。「自分の意見をはっきり述べよ」ということです。若い人、経験の少ない人であっても、例えば、お客さまのことを理解する、という点において、皆さんが勝っていることも多いと思います。ぜひ、勇気を出して、自分の意見をはっきり述べてください。

さて、当社グループでは規模の拡大とともに非常にたくさんのチャンスがふってきています。本当に大変だと思いますが、チャンスは山のように転がっていますので、そのチャンスをぜひものにしていただきたいと思います。そのチャレンジをするために我々は全力でバックアップしますし、100%の信頼で皆さんに権限委譲することをお約束いたします。ともに新しいPPIHをつくる商売人になっていきましょう。色々なことに対応するという事は非常に大変なこともあると思いますが、多くの仲間がいるということを忘れずに、頑張ってくださいと思っています。

最後にメッセージを2つ送ります。「信じる」「頼む」。これがPPIH流です。信じるというのは50%でも99%でもなく100%信じるということです。これが「信頼と尊敬の善循環」です。私自身、信じて任せてもらった権限を存分に使って15年の時が経ちました。なので「頼みました」。

皆さんにとって今日という日が人生最高の選択であるように心から応援します。私は、ドン・キホーテで働くことが、PPIHで働くことが、人生最高の選択でした。皆さんも同じようになればいいなと思っています。たくさんの仲間と「お客さまにどのような価値を提供できるか？」ということを考え、いい日も悪い日も一緒に頑張っていきましょう。応援しています！

以上、私の言葉の締めとさせていただきます。

以上